

文化之映画



## 文化と映畫

■近代生活に於て映畫がどんな役割を勤めて居るかは今更ら贅言を要しないところであらうと思ひます。娯樂に教化に報道に宣傳に、映畫はその性能を極度に發揮しつつあるのでありまして、今や私達の生活と殆んど不可分のものとなつてゐる觀があります。質的及び量的の双方から見て映畫事業の隆否は一國文化の高さを量るバロメーターの一つであると云つても差支へないであります。

我國に映畫が輸入されて四十年、この間久しい彷徨と低迷の時代を經過して現在に至りましたが、今日では我國の映畫も既に世界的水準に達しました。特に最近に於ける文化映畫の發達成長は定に驚ろくべきものがあります。これは一には支那事變に刺戟されたにも因るものであります。又我國民が單なる娯樂萬能の映畫のみでは満足しなくなつた事にも基くもので、此點我國文化の爲め慶祝に耐へないところであり、映畫法が制定されたのはこうした時勢に對應し映畫の重要性が深く認識された爲めで、特に文化映畫の強制上映が規定されたのは、映畫の國策的使命を愈々明かにしたものであります。かくして文化映畫の將來は實に洋々たるものがありますが、それと同時に斯業にたづさわる者に課せられた責任も非常に重いのであります。

東寶映畫文化映畫部は、その傳統機構技術等に於て我國斯界に於ける第一人者たるの自信を持つて居りますが、幸にその聲價も廣く認められて今日に至りました。今後は益々各般の機構を整備して大方の興望に應へ併せて映畫報國の一端を果し度いと念じて居ります。

東寶文化映畫に對して愈々御聲援御鞭撻をお願いすると同時に文化映畫に關するあらゆることにつき當部を御利用頂き度いと存する次第であります。

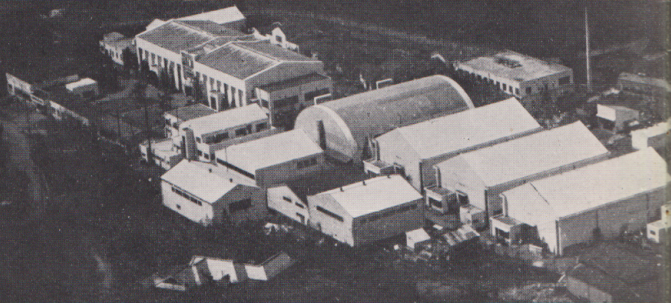
## 東寶映畫文化映畫部の沿革と現状

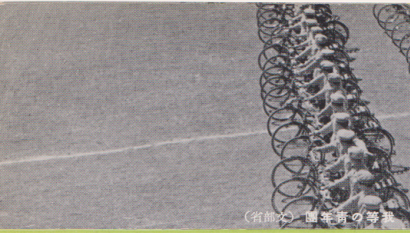
■東寶映畫文化映畫部は、昭和五年夏國産トーキーの製作を目的として東京砧村に創立された寫眞化學研究所を濫觴とするものであります。同研究所は當時我國に於ける最新最優秀の設備と技術を持つてゐたので、翌年には東朝東日兩社の委託によつて發聲映畫八本を完成し、続いて七年には鐵道省國際觀光協會の輸出映畫の製作を委託され、其後各官廳大會社新聞社等からの委託製作は年を追ふて加速度的に増加するに至つたのであります。

一方昭和八年には姉妹會社たる P・C・L・映畫製作所は自主的に劇映畫の製作を開始し、その配給を行ふ爲め十一年には東寶映畫配給株式會社が創立されました。かくて所謂 P・C・L・プロクタの業務及び機構は急激に發展膨張するに至りましたので、昭和十二年九月、東寶映畫株式會社を創立し上記各會社及び J・O・スタディオを之に合併しました。此の結果従來寫眞化學研究所として行つてゐた業務を、東寶映畫文化映畫部として引継ぎ行ふこととなりました。

こうして委託製作を行ふと共に自主作品も製作してゐましたが、十二年末發表した著作『上海』は企畫の適切と出來栄の優秀さに於て、果然文化映畫の新領域を開拓したものと激賞され、爾來製作發表した自主作品は凡て江湖の賞讃を博したのであります。又十四年五月から短篇文化映畫の定期配給の先頭を切りましたが、これ亦時代の要求に適應するものとして最も期待されてゐます。

かくして、その輝かしい傳統と、設備の改善充實と、技術の進歩向上と、企劃の生新とは、今日『文化映畫は東寶』と云ふ言葉を決定的なものにしてゐるのであります。現在我國に於ける委託作品の大半は當部に於て製作しつゝある状況であります。





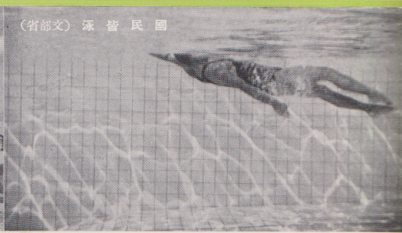
(省部文) 國羊野の等類



(省部) 本自



(省部文) 樹藤江中



(省部文) 深皆民國

# 策 國



(省部文) 國標旗も前

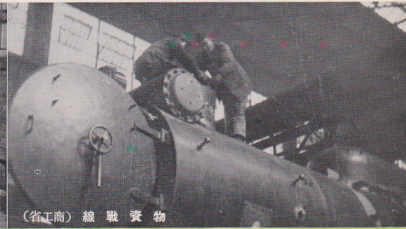


(省部) 國標旗も前

# 育 教



(省東縣) 品販せか生



(省工商) 線職資物



(省海大) 大橋



(鐵滿) 隊擊突拓開

# 介 紹



(會興振化文際國) 樂 舞



(省務内) 市都いなえ憲



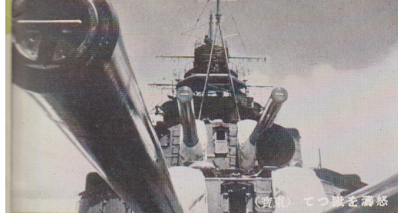
(會興振化文際國) 會研陶の本日



(會協遠放本日) 本讀オテラ



(會協光觀際國) 藝工手の本日



(誌誌) てつ基を海怒



(實地) 海 上



(實地) 歌の友藝



(會興振化文際國) 曲序亞興



(實地) 草 雨

# 録 記





(省部文) 野山の秋

# 學科

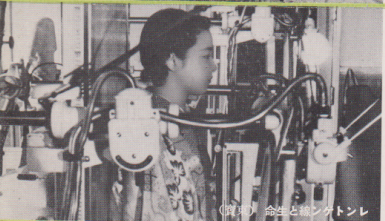
例一の品作社當



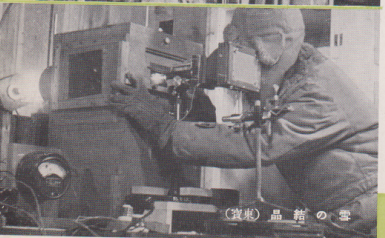
(學大科醫都京) 動運毛絨の露



(京大) 秋の蛙



(京大) 会生と分光トロンレ



(資集) 品箱の器

## 映畫の宣傳的効果に就て

映畫がその自由新鮮な表現力と、主として映畫館と云ふ特殊な雰圍氣の内で上映されること等によつて極めて強い暗示力を持つことは多くの學者が指摘してゐるところであります。従つて之を宣傳的的目的に使用する時、その効果の頗る顯著なことは今や既に實驗済であります。ところで、今日我國に於て一つの映畫は一體どれ位の人に見られるでしょうか。之を概算してみますと、一つの常設館の定員を平均五百人、一館一日の入場者を定員の二倍即ち一千人とすれば、一番組一週間興行として、一館では七千人の人が見ることになります。若し之を全國常設館一千八百の凡てに上映すれば、合計一千二百六十萬人が見るわけです。現在我國の興行界の實狀から全常設館への上映は困難ですが、全常設館の半数に上映しても六百三十萬人の人が見る計算となります。然も普及教化宣傳用の映畫ではこの他に假設の映寫場で上映する場が多いためです。即ち此種映畫の製作に當つて常設館への上映も可能なものを企畫すれば、その宣傳力は定に偉大なものがあるのです。もつとも上記のことは宣傳力の速度の點には觸れてみませんが、これはプリント數の多寡によつて解決し得ることであります。

かくて映畫は新聞雜誌等の印刷物と並んで最も強力な宣傳媒體と云ふべく、特に訓練とか紹介とかの點では最も有効且つ徹底的効果をあげ得るのであります。

## 委託映畫の製作費

委託映畫の製作費は、作品の内容とか製作上の各種條件等によつて異り一概には決定致しかねます。即ち

- 一、仕上りの長さ
  - 一、出張撮影地は遠いか近いか
  - 一、セットが必要か否か、必要ならばその大小
  - 一、照明を使用するか否か
  - 一、俳優を出演させるか否か
  - 一、伴奏音楽はオーケストラとするか、レコードを使用するか
  - 一、製作に要する期間は長いか短いか
  - 一、特殊技術(高微速度、顕微鏡、天然色、模型その他)を必要とするか否か
- 等によつて種々相違を生じます。先づ委託者と當部との綿密な打合せによつて撮影臺本が決定すればそれに基づいて當部に於て正確な原價を計算し、見積書を作成するのですが、標準的な價格は

壹卷(1,000呎)

四,000呎前後

即ち一呎約四圓位であります。但し巻數が増加するにつれて製作費は選減するが原則です。尚作品のプリント複製は、一呎約十二錢即ち壹卷(1,000呎)で約壹百二十圓程度であります。

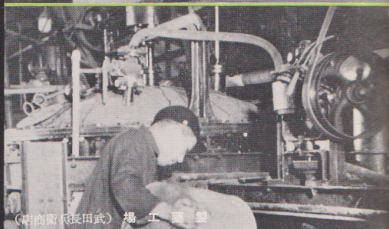




# 宣 傳



(車動自産日) てまる来出のンサツニ  
(社會式株東東)



(自高爾和臣田武) 揚工機製



(會協光製器國) 見管の本目



(省道鐵) < 招 は 山



(會協光製器國) 樂響交京東



(社會式株果青潤濠) 空 艦 孫



(社會式株菓製治明) 團の子菓お



(省途旅) 山 嶺 の 西



(會協光製器國) 京 北 一 京 東



(店舖總出) 廠 建 上 へ 機

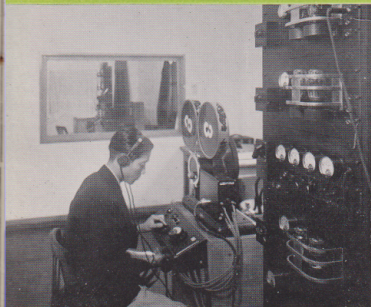
# 觀 光

# 當社設備の一

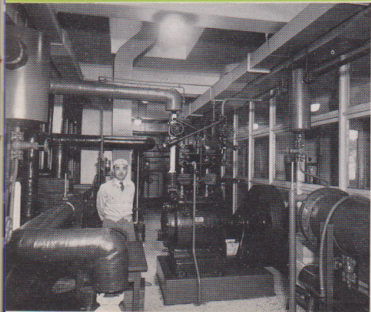
東京撮影所はスタジオイオハの他、最新の設備を有つて持つてゐます。この他京都にも撮影所があります。寫眞は東京撮影所の一部。



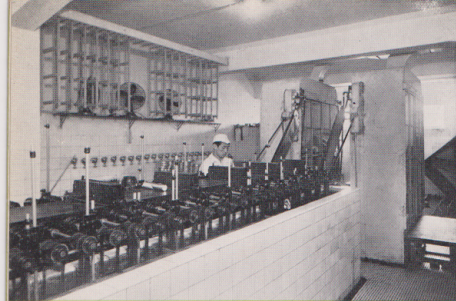
録音はトイキー映画として頗る重要な部分ですが、東寶のP・C・E・システムはこの優秀性を誇つてゐます。寫眞は録音室の一部。



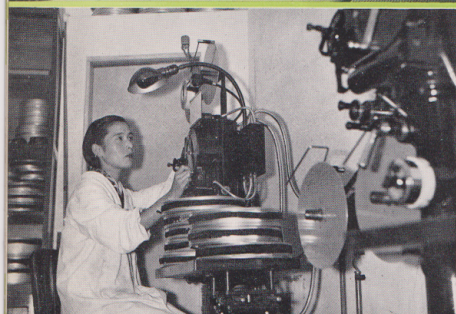
畫面の美しいことは東寶映画の特徴の一つですが、これは完備した現像室の設備による所々大です。寫眞は現像室の暖冷房装置。



東寶の自動現像装置は頗る優秀なものでありまして、此の完全な装置によつて適切な現像を急速に行ふのであります。



現像されたネガ・フィルムは精巧な焼附機と熟練した技術によつて焼附けられ迅速に陽畫となります。寫眞は焼附操作中の光景。



トイキーでは畫と音とは別のフィルムに撮影されるので、之を正しく合せる爲めムワイオラと云ふ機械によつて整理編組をします。

